



平成 19年 3月期 決算短信

平成 19年 5月11日

上場会社名 井村屋製菓株式会社 上場取引所 東証二部・名証二部
 コード番号 2209 URL <http://www.imuraya.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田 剛夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員財務部長 (氏名) 竹田 節郎 TEL (059) 234-2147
 定時株主総会開催予定日 平成 19年 6月 22日 配当支払開始予定日 平成 19年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 平成 19年 6月 22日

(百万円未満切捨て)

1. 19年 3月期の連結業績(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|---------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 19年 3月期 | 32,279 | 3.8 | 510 | - | 433 | - | 184 | 64.6 |
| 18年 3月期 | 33,557 | 1.7 | 631 | 34.6 | 746 | 29.0 | 521 | 7.2 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|---------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 19年 3月期 | 7 32 | - | 1.6 | 1.8 | 1.6 |
| 18年 3月期 | 20 19 | - | 4.4 | 3.2 | 1.9 |

(参考) 持分法投資損益 19年3月期 10百万円 18年3月期 3百万円

(2)連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 19年 3月期 | 23,611 | 11,740 | 49.7 | 467 10 |
| 18年 3月期 | 23,733 | 12,062 | 50.8 | 477 67 |

(参考) 自己資本 19年3月期 11,740百万円 18年3月期 - 百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物の 期末残高 |
|---------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 19年 3月期 | 282 | 1,319 | 1,264 | 573 |
| 18年 3月期 | 883 | 2,080 | 735 | 910 |

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | 配当金総額 (年間) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|-----------------|----------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 中間 | 期末 | 年間 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 18年 3月期 | - | 8.00 | 8.00 | 201 | 39.6 | 1.7 |
| 19年 3月期 | - | 8.00 | 8.00 | 201 | 109.3 | 1.7 |
| 20年 3月期 (予想) | - | 8.00 | 8.00 | | 60.9 | |

3. 20年 3月期の連結業績予想(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----|--------|-----|------|---|------|---|-------|------|----------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 中間期 | 16,500 | 4.1 | 170 | - | 200 | - | 120 | - | 4 77 | |
| 通期 | 33,400 | 3.5 | 490 | - | 550 | - | 330 | 79.3 | 13 13 | |

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

(注)詳細は、18ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）19年3月期 25,644,400株 18年3月期 25,644,400株
 期末自己株式数 19年3月期 509,513株 18年3月期 417,875株

(注)1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、25ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

1. 19年3月期の個別業績（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|---------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 19年 3月期 | 30,419 | 2.9 | 649 | - | 590 | - | 110 | 61.6 |
| 18年 3月期 | 31,333 | 5.2 | 319 | 42.3 | 391 | 35.8 | 287 | 10.3 |

| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | |
|---------|----------------|----|-----------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 19年 3月期 | 4 | 38 | - | - |
| 18年 3月期 | 10 | 91 | - | - |

(2)個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|---------|--------|--|--------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 19年 3月期 | 22,246 | | 10,681 | | 48.0 | | 424 97 | |
| 18年 3月期 | 22,208 | | 11,081 | | 49.9 | | 438 80 | |

(参考) 自己資本 19年3月期 10,681百万円 18年3月期 -百万円

2. 20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----|--------|-----|------|---|------|---|-------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 中間期 | 15,300 | 3.7 | 70 | - | 100 | - | 60 | - | 2 | 39 |
| 通期 | 31,400 | 3.2 | 340 | - | 400 | - | 240 | 118.2 | 9 | 55 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記業績予想に関連する事項につきましては、添付資料の5ページをご参照ください。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の向上や設備投資の増加など戦後最長の拡大基調が継続しているといわれています。しかし、その多くは「円安」に下支えされた輸出関連業種であり、全般的には原油関連などの原材料価格の上昇や賃金水準が伸び悩むなど、実感の伴わない依然として厳しい状況で推移しました。

菓子・食品業界におきましても、原油の高止まりに関わる原材料価格の高騰や小売業の競争激化による販売費の増加、また、一層高まった「安全・安心」への取組みなど、新たな課題への対応が求められてまいりました。

このような状況にあって当社グループは、「Be always for Customers!」(お客様のことをもっと考えよう、もっと見よう、もっと知ろう、もっと近づこう、もっと喜んでもらおう)をグループポリシーと定め、平成19年4月に迎える会社設立60周年へ“つないでいく”重要な年と位置づけスタートいたしました。

当期間を総括しますと新しい幕開けに向かう試練の一年でありました。

組織面では、「つながり経営」と「商品力の向上」を大きなテーマとして、「マーチャンダイズグループ」、「マーケティンググループ」、「マネージメントグループ」の3つのグループに大別し、商品に関わるすべての業務を見直し実行する組織といたしました。

また、新規事業として、平成18年11月に中国北京に井村屋(北京)食品有限公司(IBF)を設立いたしました。当社が培った製造技術とマーケティング力を活用し、中国の皆さんに美味しい「和菓子」をお届けしようとするもので、平成19年3月に、その第1号商品「カステラ」の製造・販売を開始しました。

ニュービジネス戦略部におきましては、井村屋製品の全てがお買い求めいただける「井村屋ウェブショップ」を平成18年9月1日に開設いたしました。ウェブショップを通して井村屋商品を広く認知していただき、小売業さまの店頭販売との相乗効果を期待しております。

設備投資におきましては、「あずきパー」の品質のさらなる向上と、市場への対応力強化を目的としてアイスクリーム「バーサライン」の導入を行いました。連結子会社であります日本フード(株)は将来を見据えて「スパウチライン」の増設を行い、当社の強みであります「餡」の風味のさらなるアップを目的に新機能を持った餡製造設備を井村屋製菓(株)とともに日本フード(株)に設置いたしました。シーズニングカンパニーでは増加する受託商品への対応として期中ではありましたが「液体調味料工場」の増設を行いました。

売上面におきましては、シーズニングカンパニーの健康機能性食材や食品の「お赤飯の素」、「寒天デザート類」、冷菓の「あずきパー類」類は伸長いたしました。夏場の長梅雨や天候不順、冬の記録的な暖冬は季節商品のウエイトの高い当社グループにとって売上の減少に大きく影響いたしました。

以上の結果、当期連結売上高は322億79百万円(前年同期比96.2%)、単体での売上高は304億19百万円(前年同期比97.1%)となりました。

収益面におきましては、売上の減少に伴う粗利益の減少、原油価格の高止まりに起因する関連副資材や砂糖価格、「肉まん」の主要原料であります豚肉や玉ねぎなど原材料価格の高騰や、将来を見据えて行いました設備投資に関わる費用などが原価を押し上げました。販売におきましても市場競争は厳しく、広告宣伝費や販売促進費など販売管理費が増加いたしました。チルドフーズカンパニー、フードサービスカンパニーでは改革を進め、次年度(第71期)に商品の集約化や生産の効率化等による成果を期待しております。

以上の結果、連結経常損失は4億33百万円(前年同期は7億46百万円の経常利益)となりました。

当期連結純利益は、フードサービスカンパニー跡地の世田谷区経堂の土地の売却益、繰延税金資産回収を目的に行った有価証券の売却益、アンナミラズにおける店舗閉店やカミサリー(集約工場)の移転に伴う除却損の計上を行った結果、1億84百万円(前年同期5億21百万円)となりました。

なお、平成2年に保有いたしました鳥羽市堅子町の土地は、その後のパブルの崩壊もあり含み損を土地再評価差額金として留保しておりましたが、当期連結会計年度で売却したことによって繰越利益金4億60百万円が減少いたしました。

事業別の状況

<流通事業>

(菓子・食品・デューリーチルド)

菓子は、夏場の主力商品であります水ようかんのギフト、単品ともに苦戦をいたしました(前年同期比92.8%)。下期にはミニようかん類(前年同期比105.1%)、「和のスイーツ」の切り口で取組んでまいりました和洋菓子の最寄品が伸長いたしました(前年同期比108.7%)ものの夏商品のカバーにはいたりませんでした。以上の結果、菓子の売上高は40億72百万円(前年同期比97.8%)となりました。

食品におきましては、お赤飯の素が継続してご好評をいただき(前年同期比140.9%)、寒天を素材とした「コールドデザート類」も好調に推移いたしました(前年同期比128.1%)。しかし「シロップ」や「ぜんざい」、「袋入り(冷凍)肉まん・あんまん」は天候影響を受け苦戦をいたしました。以上の結果、食品の売上高は45億76百万円(前年同期比94.6%)となりました。

チルドフーズカンパニーで生産しておりますデューリーチルド商品は、健康志向が高まる中で「やわらか寒天」や「おいしく飲める寒天」が大きく伸長したこともあって、売上高は25億84百万円(前年同期比130.5%)となりました。この急激な需要増によって、一方で原価管理の問題や生産コストの増加などが発生いたしました。

植物性素材100%にこだわった食品の「JiAi (慈愛)」ブランドは、ノンコレステロール、低カロリー、植物性たん白使用の新商品ベジチャウ(ブラウンチャウダー、トマトチャウダーの2品)を12月に発売し、従来の高級スーパーや生協に加え、一般流通チャネルにも商品説明会を実施するなど販路の拡大を行いました。

(加温・冷蔵)

加温の「肉まん・あんまん類」では、「素材に安心 調理を工夫 美味しさ満足 井村屋肉まんあんまん」をテーマに、安全と安心と美味しさにこだわり、手作りで高付加価値のある中国の協力工場で生産した商品や小売業との取組み商品等の投入を行い市場の拡大を図りましたが、シーズンを通しての記録的な暖冬の影響や競争激化もあいまって売上高は75億36百万円(前年同期比91.3%)となりました。

冷蔵の「アイスクリーム類」は、販売ウエイトの最も高い上半期に長梅雨や天候不順の影響もあり、輪切りバイン等の夏物商品が苦戦いたしました。主力商品であるBOXあずきバーは前年同期比7%増と好調に推移し、6月から稼動したバーサラインは8月の最盛期には当初の効果をいかに発揮いたしました。下期は暖冬要因もあり「たい焼きアイス」等の秋・冬物商品が前年同期比55%増と大きく伸ばいたしました。上半期のカバーをするにはいたらず、冷蔵の売上高は76億52百万円(前年同期比93.1%)となりました。

以上により、流通事業全体の売上高は264億22百万円(前年同期比96.2%)となりました。

<フードサービス事業>

フードサービス事業は、継続して改革を強く進めました。「アンナミラズ」におきましては、広尾店をジュヴォーに業態変換し、自由が丘店、オペラシティー店の不採算店を閉店いたしました。平成19年3月末では赤坂店、横浜ランドマーク店、高輪店の3店舗での営業であります。12月には、世田谷区経堂にありましたカミサリー(集約工場)を将来も見越してフードサービスファクトリーとして津市高茶屋津工場内に移設し、同時に管理部門(ジュヴォー、アンナミラズ)をビジネスサポートセンターとして府中市に移転しました。また、流通部門とのコラボレーション商品として「アンナミラズアイスクリーム」の発売を行いました。アンナミラズの売上高は閉店の影響もあり6億68百万円(前年同期比59.3%)となりました。

フランスのプロバンス地方の菓子を販売するジュヴォーは、4月にアトレ大井町店、6月に広尾店、11月にはクイーンズ伊勢丹横浜店を開店いたしました。一方、1月に京王百貨店新宿店を閉店し3月末日では7店舗を展開しております。また、バレンタインデーやホワイトデー等の催事に出店し、ジュヴォーのブランド認知活動を積極的に行った結果ジュヴォーの売上高は2億40百万円(前年同期比180.4%)となりました。

以上の結果、フードサービスの売上高は9億7百万円(前年同期比72.1%)となりました。

<調味料事業>

調味料事業(シーズニングカンパニー)は、「健康や美容」志向が高まる中であって、従来の主力商品であった粉末味噌・醤油から、ここ数年健康機能食材へシフトすべく新商品の開発や市場開拓に取組んだ成果が着実に結実し順調に推移しました。また、下期に設備投資を行いました液体調味料設備は1月からフル稼動に入りました。

以上により売上高は49億16百万円(前年同期比102.2%)となりました。

同じく、中国北京で調味料事業を展開しております北京京日井村屋食品有限公司(JIF)は、シーズニングカンパニーの好調な業績とのシナジーもあり売上高は4億35百万円(前年同期比103.5%)となりました。収益面におきましても、平成18年12月期には創業時からの累積損失を解消するなど今後への期待はさらに高まっています。

<その他の事業>

その他の事業(イムラ株)は、平成18年4月から従来の保険・リース代理業に賃貸住宅ヴィル グランディールの管理業務と地域住民の皆さまへの生活サポートとしてクリーニング・宅急便の取次ぎ業務を加えて新たにスタートをいたしました。10月には、環境への取組みの一環として井村屋製菓(株)の規格外商品を販売する「M O T T A I N A I 屋」を開店しご好評をいただいております。以上の結果、売上高は33百万円(前年同期比122.2%)となりました。

19/3期 企業集団の事業別売上高

(単位:百万円)

| 事業区分 | 前連結会計期間 | | 当連結会計期間 | | 前期比増減 | | |
|-----------|---------|--------|---------|--------|-------|--------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 | |
| 流通事業 | 菓子 | 4,165 | 12.4% | 4,072 | 12.6% | 93 | -2.2% |
| | 食品 | 4,839 | 14.4% | 4,576 | 14.2% | 263 | -5.4% |
| | デイリーチルド | 1,980 | 5.9% | 2,584 | 8.0% | 604 | 30.5% |
| | 加温 | 8,251 | 24.6% | 7,536 | 23.3% | 715 | -8.7% |
| | 冷蔵 | 8,222 | 24.5% | 7,652 | 23.7% | 570 | -6.9% |
| | 流通事業計 | 27,459 | 81.8% | 26,422 | 81.8% | 1,039 | -3.8% |
| フードサービス事業 | 1,259 | 3.8% | 907 | 2.8% | 351 | -27.9% | |
| 調味料事業 | 4,810 | 14.3% | 4,916 | 15.2% | 106 | 2.2% | |
| その他の事業 | 27 | 0.1% | 33 | 0.1% | 6 | 22.2% | |
| 合計 | 33,557 | 100.0% | 32,279 | 100.0% | 1,278 | -3.8% | |

次期の見通し

経済環境の先行きについては、引き続き拡大基調が継続するとの見方もありますが、菓子・食品業界におきましては依然原油の高止まりに関わる原材料価格の高騰や消費者の低価格志向に伴う販売競争の激化が見込まれ事業を取り巻く環境は厳しい状況で推移するものと予想されます。当社グループでは平成20年3月期を「新生井村屋」創造への新・起点の年、そして中期3ヶ年計画スタートの年と認識して取り組み、将来を見据えて行ってきた設備をはじめとする投資の回収、ロス・ミス・ムダの削減、人材の活用を全グループが徹底して実行し、通期の見通しにつきましては、連結売上高334億円（前年同期比3.5%増）、連結営業利益4億90百万円（前年連結営業損失5億10百万円）、連結経常利益5億50百万円（前年連結経常損失4億33百万円）、連結当期純利益3億30百万円（前年同期比79.3%増）を見込んでおります。また当社単体での売上高は314億円（前年同期比3.2%増）、営業利益3億40百万円（前年営業損失6億49百万円）、経常利益4億円（前年経常損失5億90百万円）、当期純利益2億40百万円（前年同期比118.2%増）の見通しであります。

(2) 経営成績に関する分析

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産額は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少（前期比0.5%減）して236億11百万円となりました。主な要因は有形固定資産において生産設備増強等の設備投資により5億87百万円増加しましたが土地が売却に伴い4億38百万円減少し、また投資その他の資産がその他有価証券の評価差額の減少などで3億19百万円減少したことによるものであります。

負債は主に計画的に実施した設備投資に伴う借入金の増加により1億99百万円増加（前期比1.7%増）し118億70百万円となりました。

純資産ではその他有価証券の評価差額金の減少等により3億22百万円減少（前期比2.7%減）し117億40百万円となりました。この結果、自己資本比率は49.7%（前期比2.2%減）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローについては、営業活動による資金の減少2億82百万円及び投資活動による資金の使用13億19百万円に対し、財務活動において12億64百万円の資金調達を行いました結果、現金及び金同等物は期首残高より3億37百万円減少し、期末残高は5億73百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

各活動によるキャッシュ・フローの状況とそれらの主な原因は下記のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローはマイナス2億82百万円となり、前年同期より1165百万円減少いたしました。これは前年同期と比較し、主に営業利益が損失に転じたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは7億61百万円減少いたしました。主な要因は設備投資額が1億48百万円増加した一方で土地の売却によって11億2百万円の資金を得たことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは運転資金の調達等により前年同期より5億29百万円増加しております。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 平成16年3月期 | 平成17年3月期 | 平成18年3月期 | 平成19年3月期 |
|------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率(%) | 53.7 | 52.8 | 50.8 | 49.7 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 59.9 | 56.6 | 68.2 | 59.6 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%) | 630.1 | 67.2 | 245.9 | - |
| ｲﾝﾌﾞﾙｽﾄ・ｶﾞﾚｯｼﾞ・ﾚﾝﾄﾞ(倍) | 7.5 | 62.9 | 33.6 | - |

（注）自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

ｲﾝﾌﾞﾙｽﾄ・ｶﾞﾚｯｼﾞ・ﾚﾝﾄﾞ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象にしております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
- 平成19年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「ｲﾝﾌﾞﾙｽﾄ・ｶﾞﾚｯｼﾞ・ﾚﾝﾄﾞ」については営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、株主の皆様への還元、企業体質強化のための内部留保並びに取締役・従業員の処遇等をバランスを図って企業活力の維持に繋げています。利益配当金は安定的かつ漸増的配当を基本に適切な成果の配分を行い、内部留保資金は事業展開、生産設備の合理化・効率化などに活用いたします。

当期の配当金につきましては、当期の業績は遺憾ながら不本意なものとなりましたが、当該成績は天候等の諸要因が重なった一時的なものであると判断し、新たにスタートする中期3ヶ年計画の初年度となる次期において業績の回復を見込んでおります。一方当社では、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、安定的な配当の継続を基本としてまいりましたことから、当期の期末配当につきましても、前期と同じく1株当たり8円とさせていただきますと予定しております。

次期の配当金につきましては、1株あたり8円を予定しておりますが、財務状況や次期の業績等を総合的に勘案したうえで最終的に決定いたします。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当連結会計年度末現在当社、連結子会社3社、非連結子会社1社及び持分法適用関連会社1社により構成されております。

当社グループが営んでいる主な事業内容と、当該事業に係る位置付けは、事業の種類別セグメント情報における事業区分によれば次のとおりであります。

流通事業

当社が製造販売するほか、当社製品の一部については、製造を日本フード(株) (連結子会社) 及び(株)ポレア (連結子会社) に委託しております。また中国北京市に平成18年12月井村屋(北京) 食品有限公司 (非連結子会社) を合併で設立し、立ち上げ時期として当社が生産技術の提供を行っております。

フードサービス事業

当社のフードサービスカンパニーが首都圏でアメリカンスタイルのレストラン“アンナミラズ”、とフランス・プロヴァンス地方の特徴ある菓子類を中心に販売する“ジュヴォー”を店舗展開しております。

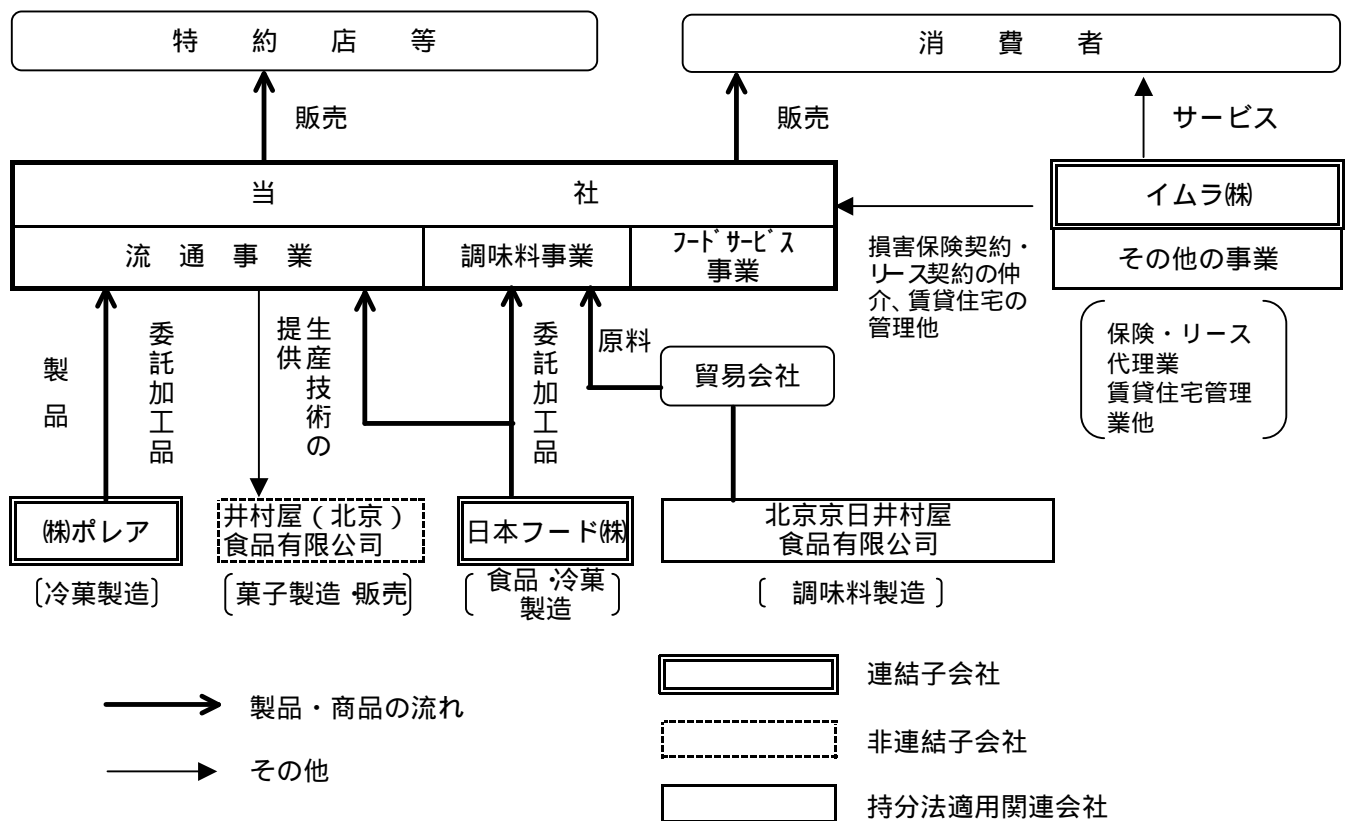
調味料事業

当社のシーズニングカンパニーが各種調味料素材を製造販売しております。また、製造を一部日本フード(株)へ委託しております。なお、当社は他社(貿易会社)との共同出資で、中国北京市所在の北京京日井村屋食品有限公司(持分法適用関連会社)にも製造の一部(粉末化製品)を委託しております。

その他の事業

イムラ(株) (連結子会社) が損害保険代理業及びリース代理業を営み、当社と保険契約取引をしております。また、当社の事業であります賃貸住宅ヴィル グランディールの管理業務等を行っております。

以上を、事業系統図によって示しますと次のとおりであります。



3. 経営方針

当社及びグループ各社は、当社の経営方針を共有し、グループ全体の利益の増進と経営の効率化に取り組んでおります。当社の経営方針は次の通りであります。

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、「Be always for Customers!」の企業ポリシーのもと、新しい食文化のプランナーを自覚し、単にお客様のニーズに対応するだけでなく、商品、サービスを通じ食生活の新しいスタイルを提案し、家庭における「食」を通じて手軽な楽しいひとときを提供することを使命と考え、一味違った独創的な商品の創造によって社会、文化に貢献寄与する企業活動に取り組んでおります。

(2) 目標とする経営指標

当社は適切な経営判断を行うため、ROE（株主資本利益率）、総資本回転率など成長性、安全性、収益性、効率性や生産性など各経営指標の活用を重視し、ROE、PBR（株価純資産倍率）やPER（株価収益率）の向上及び損益分岐点比率の引下げを中期目標に定めております。当社経営方針の1つとして「しなやかで強く魅力のある会社」を掲げており、収益性を重視する観点から売上高経常利益率3.7%、損益分岐点比率89.8%を目標数値として取り組んでまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、今年度より「新たな継続と成長による企業価値の向上」を基本テーマに5年先のビジョンを描き、それに向かって、この3年間で実行すべき指針と目標を示した中期3ヶ年計画「Advance 17 Plan」（アドバンスとはステップアップしながら進化するとの意味）をスタートいたしました。

「特色経営に」にこだわり・みがく事で企業価値の向上を目指し継続と成長を図ることを目的として ポリシーの遵守 商品品質 人材力の向上 技術革新 グループ経営 CSRの発揮 グローバル企業への成長をみがく項目に設定し目標達成への強い意志と執着心、徹底力そして良いコミュニケーションを大切に社員全員が「主体的当事者意識」を持ち、「つながり」を考え目標の達成に向け邁進してまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

井村屋製菓(株)は平成19年4月8日に会社設立60周年を迎えました。ステークホルダーの皆さまに感謝申し上げるとともに次代への新たな継続と成長を誓う時であると認識して新たな中期3ヶ年計画を策定いたしました。第71期を「新生井村屋」創造への新・起点の年として取り組んでまいります。

第71期は、「温故知新」をスローガンに掲げ、経営方針を次ぎの7つと決めました。

商品品質の絶対的向上をはかり、顧客からの信頼を得る。（品質第一主義）

主体的当事者意識を持ち、責任感を持って行動する。（甘えからの脱却）

ISO活動の経営活用を推進する。その管理手法として、管理プログラム方式を実務にあてる。
（システム経営の実行）

全社員がマーケットマインドを持ち、マーケティング活動にあたる。（ポリシーの遵守と実行）

グループ全体の協働体制を確立する。（協働力の発揮）

CSRを常に企業経営ベースとする。（社会的責任を果す企業）

目標利益を確実に獲得する企業体質を構築する。（目標を達成する気概を持つ）

この7つの方針に基づき、当期の取組みでは第4次業務構造改革のテーマを次のように設定しました。

一．トレーサビリティシステムの確立（品質保証体制の確立）

二．リスクマネジメントの構築

三．良いコミュニケーションの会社をつくる

グループ全体でこの改革を着実な成果につなげてまいります。

組織面では、変化の激しい巨大な流通市場に対応するためマーチャндаイズグループとマーケティンググループが一体化した共同体として機能することを狙いとして流通事業管掌を設置いたしました。

フードサービスカンパニーとチルドフーズカンパニーを廃止し、新たにニュービジネスカンパニーを発足しました。これにより、フードサービスカンパニーはファクトリー（集約工場）を津工場の生産部門へ、店舗・管理部門は新たに発足するニュービジネスカンパニーのフードサービスユニットとして再編いたしました。チルドフーズカンパニーも津工場の生産部門へ移管することにより、課題であります商品の品質管理の強化、ユーティリティコストの共用による原価低減、生産の効率化を図ります。

フードサービスユニットの「ジュヴォー」・「アンナミラーズ」は、今後、流通とのコラボレーションの強化を進め、ブランド価値を生かして、流通における拡大が井村屋製菓の特色ある方向性ともなる大きな転換期に入りました。

強く求められております企業活動の規律・規範につきましては、当グループが自発的に、自律的に、自主的に内部管理を行い、透明性・公開性を保持する機能の観点から内部統制室の設置を行いました。

設備に関しましては、重油価格の高騰に対応して燃料費の削減やボイラー効率のアップ、環境負荷の軽減（CO₂排出量の容量換算で東京ドーム1.5杯分の軽減）にも配慮して重油ボイラーから天然ガスボイラーへの変更を行い4月末から稼働を開始いたしました。

また、地球温暖化傾向による天候不順に対応して、年間を通して販売していただける商品として3月に加温商品の「包子（パオズ）・点心」類の新商品を発売し、アイスクリームにおきましても「和菓子アイス」を強化してまいります。

以上に加え、将来を見据えて行ってまいりました設備をはじめとする投資の回収、ロス・ミス・ムダの撲滅、人材の活用を全グループが徹底して実行し、「しなやかで、強く、魅力のある会社」を目指して挑戦してまいります。

(5) その他、会社の経営上の重要な事項

該当事項はありません。

4. 連結財務諸表等

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円・%)

| 科 目 | 前連結会計年度 (平成18.3.31) | | 当連結会計年度 (平成19.3.31) | | 増 減 |
|-----------------|------------------------|--------------|------------------------|--------------|------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 |
| (資産の部) | | | | | |
| 流動資産 | 9,026 | 38.0 | 9,076 | 38.4 | 50 |
| 現金及び預金 | 960 | | 620 | | 340 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,975 | | 5,290 | | 315 |
| たな卸資産 | 2,424 | | 2,407 | | 17 |
| 繰延税金資産 | 316 | | 442 | | 126 |
| その他流動資産 | 351 | | 318 | | 33 |
| 貸倒引当金 | 1 | | 2 | | 1 |
| 固定資産 | 14,706 | 62.0 | 14,534 | 61.6 | 172 |
| 有形固定資産 | 11,664 | | 11,812 | | 148 |
| 建物及び構築物 | 5,071 | | 5,268 | | 197 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,418 | | 2,240 | | 822 |
| 土地 | 4,631 | | 4,193 | | 438 |
| その他の有形固定資産 | 541 | | 109 | | 432 |
| 無形固定資産 | 43 | | 40 | | 3 |
| 投資その他の資産 | 3,360 | | 3,041 | | 319 |
| 投資有価証券 | 2,214 | | 1,831 | | 383 |
| その他の投資 | 1,145 | | 1,209 | | 64 |
| 貸倒引当金 | 360 | | 360 | | 0 |
| 資産合計 | 23,733 | 100.0 | 23,611 | 100.0 | 122 |
| (負債の部) | | | | | |
| 流動負債 | 8,753 | 36.9 | 8,057 | 34.1 | 696 |
| 支払手形及び買掛金 | 3,533 | | 3,409 | | 124 |
| 短期借入金 | 1,427 | | 1,964 | | 537 |
| 未払金 | 2,279 | | 1,800 | | 479 |
| 賞与引当金 | 414 | | 414 | | 0 |
| 設備関係支払手形 | 675 | | 68 | | 607 |
| その他流動負債 | 423 | | 401 | | 22 |
| 固定負債 | 2,918 | 12.3 | 3,812 | 16.2 | 894 |
| 長期借入金 | 744 | | 1,727 | | 983 |
| 退職給付引当金 | 780 | | 711 | | 69 |
| 役員退職慰労引当金 | 147 | | 127 | | 20 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,234 | | 1,234 | | 0 |
| その他の固定負債 | 11 | | 12 | | 1 |
| 負債合計 | 11,671 | 49.2 | 11,870 | 50.3 | 199 |
| (少数株主持分) | | | | | |
| 少数株主持分 | - | - | - | - | - |

(単位:百万円・%)

| 科 目 | 前連結会計年度 (平成18.3.31) | | 当連結会計年度 (平成19.3.31) | | 増 減 |
|------------------------|------------------------|--------------|------------------------|--------------|----------|
| | | | | | |
| (資本の部) | | | | | |
| 資本金 | 2,253 | 9.5 | - | - | - |
| 資本剰余金 | 2,321 | 9.8 | - | - | - |
| 利益剰余金 | 5,903 | 24.9 | - | - | - |
| 土地再評価差額金 | 1,203 | 5.1 | - | - | - |
| その他有価証券評価差額金 | 572 | 2.4 | - | - | - |
| 為替換算調整勘定 | 1 | 0.0 | - | - | - |
| 自己株式 | 195 | 0.9 | - | - | - |
| 資 本 合 計 | 12,062 | 50.8 | - | - | - |
| 負債・少数株主持分及び資本合計 | 23,733 | 100.0 | - | - | - |
| (純資産の部) | | | | | |
| 株 主 資 本 | | | 9,739 | 41.2 | - |
| 資 本 金 | - | - | 2,253 | | - |
| 資 本 剰 余 金 | - | - | 2,322 | | - |
| 利 益 剰 余 金 | - | - | 5,413 | | - |
| 自 己 株 式 | - | - | 250 | | - |
| 評価・換算差額等 | | | 2,001 | 8.5 | - |
| その他有価証券評価差額金 | - | - | 330 | | - |
| 土地再評価差額金 | - | - | 1,664 | | - |
| 為替換算調整勘定 | - | - | 5 | | - |
| 純 資 産 合 計 | - | - | 11,740 | 49.7 | - |
| 負債及び純資産合計 | - | - | 23,611 | 100.0 | - |

(2) 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 前連結会計年度 〔自平成17.4.1〕 〔至平成18.3.31〕 | | 当連結会計年度 〔自平成18.4.1〕 〔至平成19.3.31〕 | | 増減 |
|---------------|----|--|-------|--|-------|-------|
| | | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | 金額 |
| 売上高 | | 33,557 | 100.0 | 32,279 | 100.0 | 1,278 |
| 売上原価 | | 22,065 | 65.8 | 22,240 | 68.9 | 175 |
| 売上総利益 | | 11,492 | 34.2 | 10,039 | 31.1 | 1,453 |
| 販売費及び一般管理費 | | 10,860 | 32.3 | 10,549 | 32.7 | 311 |
| 営業利益又は営業損失() | | 631 | 1.9 | 510 | 1.6 | 1,141 |
| 営業外収益 | | 209 | 0.6 | 283 | 0.9 | 74 |
| 受取利息 | | 1 | | 0 | | 1 |
| 受取配当金 | | 19 | | 26 | | 7 |
| 連結調整勘定償却 | | 18 | | - | | 18 |
| 持分法による投資利益 | | 3 | | 10 | | 7 |
| その他の収益 | | 165 | | 246 | | 81 |
| 営業外費用 | | 93 | 0.3 | 206 | 0.6 | 113 |
| 支払利息 | | 26 | | 51 | | 25 |
| その他の費用 | | 67 | | 155 | | 88 |
| 経常利益又は経常損失() | | 746 | 2.2 | 433 | 1.3 | 1,179 |
| 特別利益 | | 403 | 1.2 | 764 | 2.3 | 361 |
| 固定資産売却益 | | 0 | | 664 | | 664 |
| 投資有価証券売却益 | | 200 | | 89 | | 111 |
| 長期貸倒引当金戻入 | | 67 | | 2 | | 65 |
| その他の利益 | | 135 | | 8 | | 127 |
| 特別損失 | | 310 | 0.9 | 171 | 0.5 | 139 |
| 固定資産売却損除却損 | | 229 | | 115 | | 114 |
| 棚卸資産処分損 | | 53 | | - | | 53 |
| その他の損失 | | 27 | | 56 | | 29 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 839 | 2.5 | 159 | 0.5 | 680 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 194 | 0.6 | 64 | 0.2 | 130 |
| 法人税等調整額 | | 115 | 0.3 | 89 | 0.3 | 204 |
| 少数株主利益 | | 8 | 0.0 | - | - | 8 |
| 当期純利益 | | 521 | 1.6 | 184 | 0.6 | 337 |

(3) 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 前連結会計年度 |
|----------------------|-----------------------------|
| | (自 平成17.4.1 至 平成18.3.31) |
| (資本剰余金の部) | |
| 資本剰余金期首残高 | 2,296 |
| 資本剰余金増加高 | 24 |
| 1 自己株式処分差益 | 9 |
| 2 連結子会社合併に伴う資本剰余金増加高 | 15 |
| 資本剰余金期末残高 | 2,321 |
| (利益剰余金の部) | |
| 利益剰余金期首残高 | 5,614 |
| 利益剰余金増加高 | 521 |
| 当期純利益 | 521 |
| 利益剰余金減少高 | 232 |
| 1 配当金 | 201 |
| 2 役員賞与金 | 14 |
| 3 連結子会社合併に伴う利益剰余金減少高 | 15 |
| 利益剰余金期末残高 | 5,903 |

(4) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|-------------------------------|---------|-----------|-----------|------|------------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 |
| 平成18年3月31日残高 | 2,253 | 2,321 | 5,903 | 195 | 10,283 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | 201 | | 201 |
| 利益処分による役員賞与 | | | 12 | | 12 |
| 当期純利益 | | | 184 | | 184 |
| 自己株式の取得 | | | | 57 | 57 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 2 | 3 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額) | | | 460 | | 460 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | - | 0 | 490 | 54 | 544 |
| 平成19年3月31日残高 | 2,253 | 2,322 | 5,413 | 250 | 9,739 |

| | 評価・換算差額等 | | | | 純資産合計 |
|-------------------------------|----------------------|--------------|--------------|----------------|--------|
| | その他有価 証券評価 差額金 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成18年3月31日残高 | 572 | 1,203 | 1 | 1,778 | 12,062 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | 201 |
| 利益処分による役員賞与 | | | | | 12 |
| 当期純利益 | | | | | 184 |
| 自己株式の取得 | | | | | 57 |
| 自己株式の処分 | | | | | 3 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額) | 242 | 460 | 4 | 222 | 238 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | 242 | 460 | 4 | 222 | 321 |
| 平成19年3月31日残高 | 330 | 1,664 | 5 | 2,001 | 11,740 |

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 期 別 | 前連結会計年度 自 平成17.4. 1 至 平成18.3.31 | 当連結会計年度 自 平成18.4. 1 至 平成19.3.31 | 増 減 |
|------------------|-----|---------------------------------------|---------------------------------------|-------|
| | | 金 額 | 金 額 | 金 額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 税金等調整前当期純利益 | | 839 | 159 | 680 |
| 減価償却費 | | 656 | 946 | 290 |
| 減損損失 | | - | 1 | 1 |
| 受取利息及び受取配当金 | | 20 | 26 | 6 |
| 支払利息 | | 26 | 51 | 25 |
| 投資有価証券売却益 | | 200 | 89 | 111 |
| 連結調整勘定償却 | | 5 | - | 5 |
| 固定資産売却益 | | 0 | 664 | 664 |
| 固定資産売却損・除却損 | | 187 | 96 | 91 |
| たな卸資産廃棄処分損 | | 53 | - | 53 |
| 売上債権の増減額 | | 104 | 315 | 419 |
| たな卸資産の増減額 | | 216 | 14 | 230 |
| 仕入債務の減少額 | | 43 | 124 | 81 |
| 未払消費税等の増減額 | | 36 | 6 | 42 |
| 貸倒引当金の増減額 | | 103 | 0 | 103 |
| 賞与引当金の減少額 | | 90 | 0 | 90 |
| 退職給付引当金の増減額 | | 24 | 69 | 93 |
| 役員退職慰労引当金の減少額 | | 21 | 19 | 2 |
| 持分法による投資利益 | | 3 | 10 | 7 |
| 役員賞与 | | 14 | 12 | 2 |
| その他 | | 175 | 57 | 232 |
| 小計 | | 1,311 | 114 | 1,425 |
| 利息及び配当金の受取額 | | 20 | 26 | 6 |
| 利息の支払額 | | 26 | 51 | 25 |
| 法人税等の支払額 | | 423 | 143 | 280 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 883 | 282 | 1,165 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 定期預金の純増減額 | | 84 | 2 | 82 |
| 有形固定資産の取得による支出 | | 2,259 | 2,407 | 148 |
| 有形固定資産の売却による収入 | | 0 | 1,102 | 1,102 |
| 投資有価証券の取得による支出 | | 235 | 87 | 148 |
| 投資有価証券の売却による収入 | | 316 | 153 | 163 |
| 出資金の取得による支出 | | - | 91 | 91 |
| 貸付による支出 | | 4 | 2 | 2 |
| 貸付金の回収による収入 | | 17 | 10 | 7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | 2,080 | 1,319 | 761 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 短期借入金の純増減額 | | 277 | 783 | 506 |
| 長期借入による収入 | | 750 | 1,500 | 750 |
| 長期借入金の返済による支出 | | 59 | 762 | 703 |
| 自己株式の売却による収入 | | 4 | 3 | 1 |
| 自己株式の取得による支出 | | 34 | 57 | 23 |
| 配当金の支払額 | | 201 | 201 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | 735 | 1,264 | 529 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | | 461 | 337 | 124 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 1,372 | 910 | 462 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | | 910 | 573 | 337 |

1
2

1

(1)

.....

(2)

.....

.....
.....
.....

(3)

.....

10

50

20

(4)

.....

.....

.....

17 11 29

4

.....

10

10

10

.....

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

3

17 12

(

9

17 12 9⁵

8

86

(1)

13,551

14,142

(2)

6,041
1,657

7,169
1,430

(3)

3

2

(4)

50

50

(5)

24

(6)

11 3 31 10 3 31 13 3 31 34

24

19

14 3 31

10 3 31

119 2 4

987

18 4 1

19 3 31

| | | | | |
|--|------------|--------|-------|------------|
| | | | | |
| | | | | |
| | 25,644,400 | | | 25,644,400 |
| | 25,644,400 | | | 25,644,400 |
| | 417,875 | 97,125 | 5,487 | 509,513 |
| | 417,875 | 97,125 | 5,487 | 509,513 |

76,000

21,125
5,487

2

| | | | | | |
|---------|--|-----|---|---------|---------|
| | | | 1 | | |
| 18 6 23 | | 201 | | 18 3 31 | 18 6 26 |

| | | | | | | |
|---------|--|--|-----|---|---------|---------|
| | | | | 1 | | |
| 19 6 22 | | | 201 | | 19 3 31 | 19 6 25 |

(1)

| | | | |
|---|--|-----|-----|
| | | 960 | 620 |
| 3 | | 50 | 47 |
| | | 910 | 573 |

(1)

| | | |
|--|------------|--------------|
| | 1,380 | 2,196 |
| | 635 | 850 |
| | <u>744</u> | <u>1,346</u> |

(2)

| | | |
|--|-----|-------|
| | 241 | 375 |
| | 510 | 979 |
| | 751 | 1,355 |

(3)

| | | |
|--|-----|-----|
| | 266 | 404 |
| | 254 | 392 |
| | 8 | 13 |

(4)

17 4 1

18 3 31

:

| | フードサービス事業 | | | | | | |
|-----|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| (1) | 27,459 | 1,259 | 4,810 | 27 | 33,557 | | 33,557 |
| (2) | 16 | | 151 | 7 | 175 | (175) | |
| | 27,476 | 1,259 | 4,961 | 35 | 33,732 | (175) | 33,557 |
| | 26,215 | 1,481 | 4,552 | 41 | 32,291 | 634 | 32,925 |
| | 1,260 | 221 | 409 | 6 | 1,441 | (810) | 631 |
| | 12,384 | 1,203 | 3,361 | 2,809 | 19,759 | 3,974 | 23,733 |
| | 462 | 21 | 139 | 15 | 638 | 18 | 656 |
| | 1,346 | 0 | 54 | 1,105 | 2,506 | 98 | 2,605 |

18 4 1

19 3 31

| | フードサービス事業 | | | | | | |
|-----|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| (1) | 26,422 | 907 | 4,916 | 33 | 32,279 | | 32,279 |
| (2) | 8 | 1 | 192 | 9 | 211 | (211) | |
| | 26,430 | 908 | 5,108 | 43 | 32,490 | (211) | 32,279 |
| | 26,253 | 1,146 | 4,736 | 38 | 32,174 | 615 | 32,790 |
| | 177 | 237 | 371 | 4 | 315 | (826) | 510 |
| | 13,265 | 582 | 3,642 | 2,685 | 20,175 | 3,435 | 23,611 |
| | 717 | 20 | 125 | 3 | 867 | 19 | 887 |
| | 1,343 | 54 | 209 | | 1,608 | 6 | 1,614 |

()

| | |
|-----|-------|
| (1) | |
| (2) | |
| (3) | |
| (4) | |
|) | |
| 810 | 826 |

| | | |
|---|-------|-------|
|) | | 3,974 |
| | 3,435 | |

)

1

10

18 3 31

| | | | |
|--|-------|-------|-----|
| | | | |
| | 1,104 | 2,066 | 962 |
| | 20 | 21 | 1 |
| | 1,124 | 2,088 | 963 |
| | 69 | 62 | 7 |
| | 10 | 10 | 0 |
| | 79 | 72 | 7 |
| | 1,204 | 2,160 | 956 |

| | | |
|-----|-----|---|
| | | |
| 316 | 201 | 1 |

| | |
|-----|----|
| | |
| (1) | |
| | 54 |
| | 54 |

19 3 31

| | | | |
|--|-------|-------|-----|
| | | | |
| | 1,047 | 1,622 | 574 |
| | 20 | 21 | 0 |
| | 1,068 | 1,643 | 575 |
| | 160 | 136 | 23 |
| | 160 | 136 | 23 |
| | 1,228 | 1,779 | 551 |

| | |
|-----|----|
| | |
| 153 | 89 |

| | |
|-----|----|
| | |
| (1) | |
| | 51 |
| | 51 |

18 3 31

19 3 31

:

| | |
|-----|-----|
| 24 | 7 |
| 74 | 81 |
| 187 | 188 |
| 22 | 153 |
| 12 | 11 |
| 321 | 442 |
| 5 | 0 |
| 316 | 442 |

| | |
|-----|-----|
| 301 | 282 |
| 59 | 51 |
| 26 | 16 |
| 62 | 62 |
| 29 | 28 |
| 26 | 29 |
| 505 | 470 |
| 68 | 109 |
| 427 | 225 |
| 9 | 136 |

| | |
|---|---|
| 5 | 0 |
| 5 | 0 |

| | |
|-----|-----|
| 44 | 4 |
| 383 | 221 |
| 427 | 225 |
| 427 | 225 |
| | 0 |
| 9 | 135 |

40.1

1.4

0.3

2.7

3.4

2.0

1.7

36.9

1

| | | | |
|---|---|---------|---------|
| 1 | | 477 67 | 467 10 |
| 1 | | 20 19 | 7 32 |
| | 1 | | |
| 1 | | 521 | 184 |
| | | 509 | 184 |
| | | 12 | |
| | | 25, 254 | 25, 206 |
| 1 | | | 11, 740 |
| | | | 11, 740 |
| | | | 25, 644 |
| | | | 509 |
| 1 | | | 25, 134 |

| | | | | (%) |
|-----|---------|---------|-----|------|
| | 13, 157 | 13, 268 | 111 | 0. 8 |
| | 250 | 252 | 2 | 0. 8 |
| | 4, 191 | 4, 539 | 348 | 8. 3 |
| () | 151 | 193 | 42 | |
| | 17, 448 | 17, 867 | 419 | 2. 4 |

()

| | | | | (%) |
|--|--------|--------|-----|------|
| | 4, 335 | 4, 091 | 244 | 5. 6 |
| | 4, 335 | 4, 091 | 244 | 5. 6 |

()

| | | | | (%) |
|-----|-----|-----|----|------|
| | 9 | 9 | 0 | 0.0 |
| | 203 | 139 | 64 | 31.5 |
| | | 2 | 2 | |
| () | | 2 | 2 | |
| | 212 | 148 | 64 | 30.2 |

()

| | | | | (%) |
|--|--------|--------|-------|------|
| | 27,459 | 26,422 | 1,037 | 3.8 |
| | 1,259 | 907 | 352 | 27.9 |
| | 4,810 | 4,916 | 106 | 2.2 |
| | 27 | 33 | 6 | 22.2 |
| | 33,557 | 32,279 | 1,278 | 3.8 |

()

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 前 期 (平成18.3.31) | | 当 期 (平成19.3.31) | | 対前期増減 金 額 |
|------------------------|-----------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|
| | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 構 成 比 | |
| (資産の部) | | % | | % | |
| 流 動 資 産 | 8,305 | 37.4 | 8,666 | 39.0 | 361 |
| 現 金 及 び 預 金 | 588 | | 375 | | 213 |
| 受 取 手 形 | 509 | | 399 | | 110 |
| 売 掛 金 | 4,195 | | 4,768 | | 573 |
| 商 品 ・ 製 品 ・ 仕 掛 品 | 1,861 | | 1,839 | | 22 |
| 原 材 料 | 500 | | 488 | | 12 |
| 貯 蔵 品 | 19 | | 19 | | 0 |
| 短 期 貸 付 金 | 8 | | 50 | | 42 |
| 未 収 入 金 | 278 | | 207 | | 71 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 282 | | 417 | | 135 |
| そ の 他 の 流 動 資 産 | 61 | | 102 | | 41 |
| 貸 倒 引 当 金 | 0 | | 2 | | 2 |
| 固 定 資 産 | 13,903 | 62.6 | 13,580 | 61.0 | 323 |
| 有 形 固 定 資 産 | 10,814 | 48.7 | 10,796 | 48.5 | 18 |
| 建 物 | 4,158 | | 4,218 | | 60 |
| 構 築 物 | 476 | | 463 | | 13 |
| 機 械 及 び 装 置 | 1,205 | | 2,007 | | 802 |
| 車 両 運 搬 具 | 3 | | 3 | | 0 |
| 器 具 ・ 備 品 | 85 | | 84 | | 1 |
| 土 地 | 4,444 | | 4,006 | | 438 |
| 建 設 仮 勘 定 | 440 | | 13 | | 427 |
| 無 形 固 定 資 産 | 36 | 0.1 | 34 | 0.2 | 2 |
| 電 話 加 入 権 | 17 | | 17 | | 0 |
| そ の 他 の 無 形 固 定 資 産 | 19 | | 17 | | 2 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 3,052 | 13.7 | 3,107 | 14.0 | 55 |
| 投 資 有 価 証 券 | 2,214 | | 1,831 | | 383 |
| 関 係 会 社 株 式 | 77 | | 77 | | 0 |
| 長 期 貸 付 金 | 31 | | 50 | | 19 |
| 長 期 前 払 費 用 | 30 | | 17 | | 13 |
| 敷 金 | 343 | | 319 | | 24 |
| 差 入 保 証 金 | 306 | | 185 | | 121 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 1 | | 128 | | 127 |
| 更 生 債 権 等 | 312 | | 311 | | 1 |
| そ の 他 の 投 資 資 産 | 95 | | 184 | | 89 |
| 貸 倒 引 当 金 | 360 | | 359 | | 1 |
| 資 産 合 計 | 22,208 | 100.0 | 22,246 | 100.0 | 38 |

(単位:百万円)

| 科 目 | 前 期 (平成18.3.31) | | 当 期 (平成19.3.31) | | 対前期増減 金 額 |
|-------------------------|-----------------|-------|-----------------|-------|--------------|
| | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 構 成 比 | |
| (負債の部) | | % | | % | |
| 流 動 負 債 | 8,247 | 37.1 | 7,788 | 35.0 | 459 |
| 支 払 手 形 | 1,302 | | 47 | | 1,255 |
| 買 掛 金 | 2,019 | | 3,266 | | 1,247 |
| 短 期 借 入 金 | 1,355 | | 1,909 | | 1,355 |
| 未 払 金 | 2,227 | | 1,750 | | 477 |
| 未 払 法 人 税 等 | 27 | | 37 | | 10 |
| 未 払 消 費 税 等 | 24 | | 41 | | 17 |
| 未 払 費 用 | 198 | | 263 | | 65 |
| 預 り 金 | 35 | | 23 | | 12 |
| 賞 与 引 当 金 | 380 | | 380 | | 0 |
| 設 備 関 係 支 払 手 形 | 675 | | 68 | | 607 |
| 固 定 負 債 | 2,879 | 13.0 | 3,776 | 17.0 | 897 |
| 長 期 借 入 金 | 744 | | 1,727 | | 983 |
| 退 職 給 付 引 当 金 | 755 | | 687 | | 68 |
| 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 | 134 | | 115 | | 19 |
| 再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債 | 1,234 | | 1,234 | | 0 |
| リ ー ス 資 産 減 損 勘 定 | - | | 0 | | 0 |
| そ の 他 の 固 定 負 債 | 11 | | 11 | | 0 |
| 負 債 合 計 | 11,127 | 50.1 | 11,564 | 52.0 | 437 |
| (資本の部) | | | | | |
| 資 本 金 | 2,253 | 10.1 | - | - | - |
| 資 本 剰 余 金 | 2,320 | 10.5 | - | - | - |
| 資 本 準 備 金 | 2,310 | | - | | - |
| そ の 他 資 本 剰 余 金 | 10 | | - | | - |
| 利 益 剰 余 金 | 4,925 | 22.1 | - | - | - |
| 利 益 準 備 金 | 473 | | - | | - |
| 任 意 積 立 金 | 3,828 | | - | | - |
| 当 期 未 処 分 利 益 | 623 | | - | | - |
| 土 地 再 評 価 差 額 金 | 1,203 | 5.4 | - | - | - |
| そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 572 | 2.5 | - | - | - |
| 自 己 株 式 | 195 | 0.8 | - | - | - |
| 資 本 合 計 | 11,081 | 49.9 | - | - | - |
| 負 債 ・ 資 本 合 計 | 22,208 | 100.0 | - | - | - |

(単位:百万円)

| 科 目 | 前 期 (平成18.3.31) | | 当 期 (平成19.3.31) | | 対前期増減 |
|------------------|-----------------|-------|-----------------|-------|-------|
| | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 |
| (純資産の部) | | | | | |
| 株 主 資 本 | - | - | 8,686 | 39.0 | - |
| 資 本 金 | - | - | 2,253 | 10.1 | - |
| 資 本 剰 余 金 | - | - | 2,321 | 10.4 | - |
| 利 益 剰 余 金 | - | - | 4,361 | 19.6 | - |
| 自 己 株 式 | - | - | 250 | 1.1 | - |
| 評価・換算差額等 | - | - | 1,995 | 9.0 | - |
| その他有価証券評価差額金 | - | - | 330 | 1.5 | - |
| 土地再評価差額金 | - | - | 1,664 | 7.5 | - |
| 純 資 産 合 計 | - | - | 10,681 | 48.0 | - |
| 負債・純資産合計 | - | - | 22,246 | 100.0 | - |

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前 期 〔自平成17.4.1〕 〔至平成18.3.31〕 | | 当 期 〔自平成18.4.1〕 〔至平成19.3.31〕 | | 対前期増減 金 額 |
|---------------------|------------------------------------|-------|------------------------------------|-------|--------------|
| | 金 額 | 百分比 | 金 額 | 百分比 | |
| 売 上 高 | 31,333 | 100.0 | 30,419 | 100.0 | 914 |
| 売 上 原 価 | 20,485 | 65.4 | 20,778 | 68.3 | 293 |
| 売 上 総 利 益 | 10,847 | 34.6 | 9,641 | 31.7 | 1,206 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | 10,528 | 33.6 | 10,290 | 33.8 | 238 |
| 営業利益又は営業損失() | 319 | 1.0 | 649 | 2.1 | 968 |
| 営 業 外 収 益 | 162 | 0.5 | 263 | 0.9 | 101 |
| 受取利息及び配当金 | 25 | | 34 | | 9 |
| その他の収益 | 136 | | 229 | | 93 |
| 営 業 外 費 用 | 90 | 0.3 | 204 | 0.0 | 114 |
| 支払利息 | 24 | | 51 | | 27 |
| その他の費用 | 65 | | 153 | | 88 |
| 経常利益又は経常損失() | 391 | 1.2 | 590 | 1.9 | 981 |
| 特 別 利 益 | 293 | 0.9 | 763 | 2.5 | 470 |
| 投資有価証券売却益 | 201 | | 89 | | 112 |
| 固定資産売却益 | - | | 664 | | 664 |
| 貸倒引当金戻入 | 72 | | 2 | | 70 |
| 保 険 収 入 | - | | 6 | | 6 |
| 投資損失引当金戻入 | 15 | | - | | 15 |
| 退店補償金 | 5 | | - | | 5 |
| 特 別 損 失 | 258 | 0.8 | 134 | 0.4 | 124 |
| 固定資産売却損除却損 | 194 | | 114 | | 80 |
| 棚卸資産廃棄処分損 | 52 | | - | | 52 |
| 関係会社株式評価損 | 3 | | - | | 3 |
| 商品品質関連損失 | - | | 16 | | 16 |
| その他の損失 | 7 | | 2 | | 5 |
| 税引前当期純利益 | 426 | 1.3 | 38 | 0.1 | 388 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 22 | 0.1 | 27 | 0.1 | 5 |
| 法人税等調整額 | 116 | 0.4 | 99 | 0.3 | 215 |
| 差 引 計 | 138 | 0.4 | 71 | 0.2 | 209 |
| 当 期 純 利 益 | 287 | 0.9 | 110 | 0.4 | 177 |
| 前 期 繰 越 利 益 | 336 | | - | | - |
| 当 期 未 処 分 利 益 | 623 | | - | | - |

(3) 利益処分計算書及び株主資本等変動計算書

利益処分計算書

(単位：百万円)

| 区 分 | 前期(平成17年4月1日～平成18年3月31日) |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 当 期 未 処 分 利 益 これを次のとおり処分いたします。 | 623 |
| 配 当 金 | 1株につき8円 (普通配当 8円) 201 |
| 取 締 役 賞 与 金 | 12 |
| 別 途 積 立 金 | 50 |
| 次 期 繰 越 利 益 | 360 |

株主資本等変動計算書

当期(自平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | | | | | | | | | 自己株式 | 株主資本 合計 |
|-----------------------------|---------|-----------|------------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-------------------|-----------------|------------------------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | | | | | 利益 剰余金 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | その他 資本 剰余金 | 資本 剰余金 合計 | 利益 準備金 | その他利益剰余金 | | | | | | | | |
| | | | | | | 配当 準備金 | 別途 積立金 | 固定資産 圧縮 積立金 | 繰越 利益 剰余金 | その他 利益 剰余金 合計 | | | | |
| 平成18年3月31日残高 | 2,253 | 2,310 | 10 | 2,320 | 473 | 190 | 3,580 | 58 | 623 | 4,452 | 4,925 | 195 | 9,304 | |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | | | |
| 別途積立金の積立 | | | | | | | 50 | | 50 | | - | | - | |
| 固定資産圧縮積立金の取崩し | | | | | | | | 58 | 58 | | - | | - | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | | 201 | 201 | 201 | | 201 | |
| 利益処分による役員賞与 | | | | | | | | | 12 | 12 | 12 | | 12 | |
| 当期純利益 | | | | | | | | | 110 | 110 | 110 | | 110 | |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | | | | 57 | 57 | |
| 自己株式の処分 | | | 0 | 0 | | | | | | | | 2 | 3 | |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額) | | | | | | | | | 460 | 460 | 460 | | 460 | |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | 0 | 0 | - | - | 50 | 58 | 555 | 563 | 563 | 55 | 616 | |
| 平成19年3月31日残高 | 2,253 | 2,310 | 10 | 2,321 | 473 | 190 | 3,630 | - | 68 | 3,888 | 4,361 | 250 | 8,686 | |

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|-----------------------------|--------------------------|------------------|------------------------|--------|
| | その他 有価証券 評価 差額金 | 土地 再評価 差額金 | 評価・ 換算 差額等 合計 | |
| 平成18年3月31日残高 | 572 | 1,203 | 1,776 | 11,080 |
| 事業年度中の変動額 | | | | |
| 別途積立金の積立 | | | | - |
| 固定資産圧縮積立金の取崩し | | | | - |
| 剰余金の配当 | | | | 201 |
| 利益処分による役員賞与 | | | | 12 |
| 当期純利益 | | | | 110 |
| 自己株式の取得 | | | | 57 |
| 自己株式の処分 | | | | 3 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額) | 242 | 460 | 218 | 242 |
| 事業年度中の変動額合計 | 242 | 460 | 218 | 398 |
| 平成19年3月31日残高 | 330 | 1,664 | 1,995 | 10,681 |

6. その他

役員の変動(平成19年6月22日付)

1. 代表者の変動

該当事項はありません。

2. その他の役員の変動

(1) 新任取締役候補

| | | |
|--------------------------------------|------------------|---------------------------------------|
| 取締役兼執行役員 マーチャンダイズグループ長 兼生産統括部長 | まえやま たけし 前山 健 | (現執行役員 マーチャンダイズグループ長 兼生産統括部長) |
|--------------------------------------|------------------|---------------------------------------|

(2) 新任監査役候補

| | | |
|-------|-------------------|---------------|
| 常勤監査役 | おおにし くにお 大西 邦雄 | (現執行役員 専務付) |
|-------|-------------------|---------------|

(3) 昇進

| | | |
|--|------------------|--|
| 取締役副社長兼執行役員 社長補佐・内部統制統括責任者・ 関連会社〔中国〕管掌 | かほ けんいち 下保 憲一 | (現専務取締役兼執行役員 社長補佐・内部統制統括責任者・ 関連会社〔中国〕管掌) |
|--|------------------|--|

(4) 退任予定監査役

| | |
|--------|-----------------|
| 現常勤監査役 | ふじい かおる 藤井 薫 |
|--------|-----------------|

(注) 1. 当該役員の変動につきましては、平成19年2月22日に東京証券取引所ならびに名古屋証券取引所におきまして内容を開示いたしております。